

既存ダム等の効果 淀川水系 日吉ダム

○日吉ダムにおいて、降雨予測や下流状況を踏まえ、特別防災操作※（ピーク流量低減）を実施。

（ピーク流量低減）

- ・降雨により流入量が増加し、9時からゲート操作を行い、さらに流入量が洪水量に達したため本則操作により一定量で洪水調節を実施。
- ・その後、桂川下流桂地点で氾濫危険水位を超えることが想定されたため、今後の降雨予測から放流量を低減させてもダム水位が洪水時最高水位を超えないことを確認し、**下流河川の水位低下のため、特別にダムの放流量を低減。**
- ・さらに、降雨予測で降雨のピークと降り終わりを確認でき、ダム水位も洪水時最高水位を超えないと判断されたことから、**下流河川の水位低下のため、特別にダムの放流量の低減を更に実施。**
- ・その後、桂川下流桂地点で氾濫注意水位を下回ったため、本則操作に移行した。

（効果）

かめおかし ほづちょうしもなかじま

- ・保津橋地点（亀岡市保津町下中島）で、**約0.4m水位低減。**
- ・一連の操作により、**ダムがなかった場合と比べ保津橋地点の氾濫危険水位超過時間を5時間短縮。**
- （氾濫危険水位超過時間が12時間から7時間に低減）

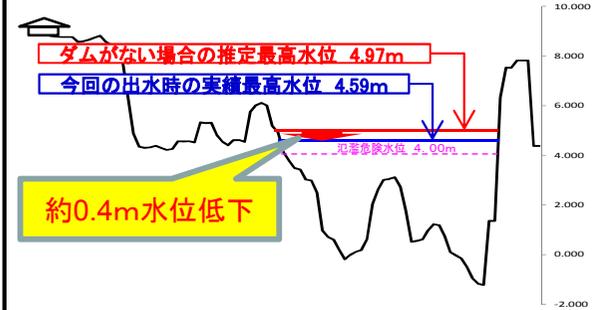
日吉ダムと保津橋地点の位置図



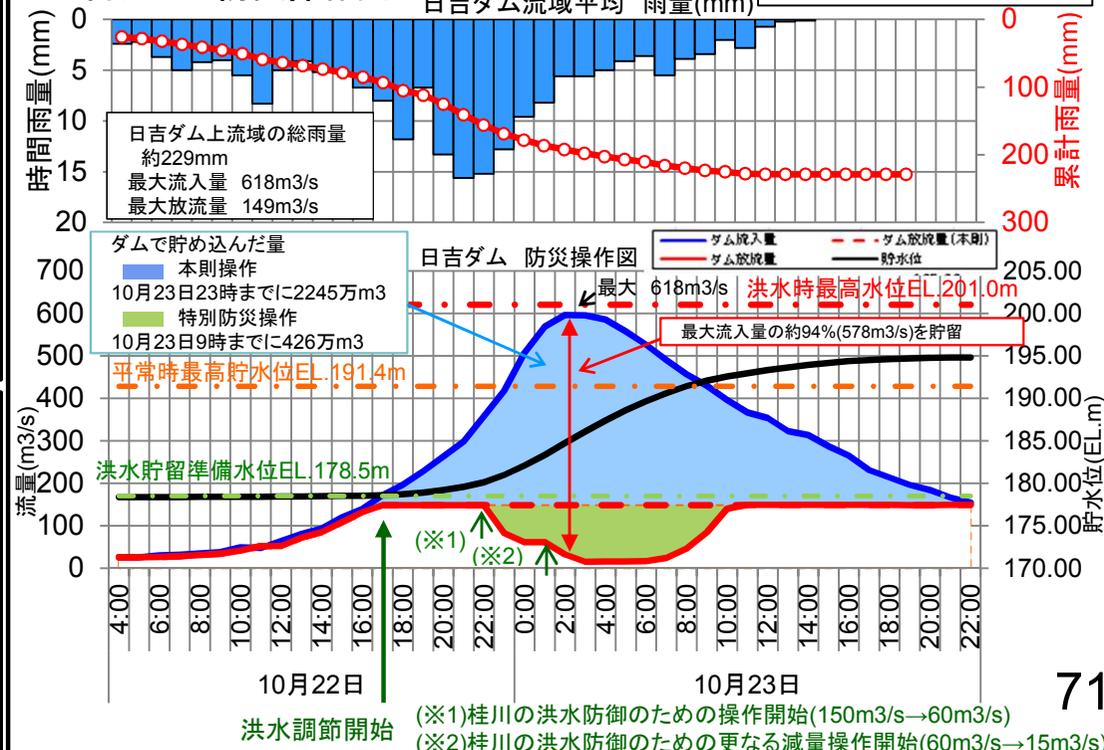
ダム貯留状況写真



保津橋地点における水位低減効果



日吉ダムの防災操作図



※特別防災操作
 ・降雨予測を踏まえて空き容量確保をしたり、降雨予測や下流状況を踏まえ、ダム容量の範囲内で洪水調節可能か確認のうえピーク流量の低減を行う操作。
 ・本操作は上記の条件を満たす時にできる特別な操作であり必ず実施出来るものではありません。